ASTAP-33 会合報告

しげ の たかひろ 総務省 国際戦略局 通信規格課 **重野 誉敬**

総務省 国際戦略局 通信規格課 長屋 嘉明

よしあき

総務省 国際戦略局 通信規格課 山口 大輔

総務省 国際戦略局 通信規格課 真塚 裕理

1. はじめに

2021年6月7日 (火)~11日 (金) の日程で第33回ASTAP 会合 (ASTAP-33) がZoomによるWeb方式で開催された。 ASTAP-33には、APT加盟国38か国のうち、19か国の 主管庁代表と、企業・団体を含め、223名が参加した。

日本からは、富士通、日本ITU協会、KDDI、三菱電機、NEC、NICT、NTT、OKI、TTC、総務省等より参加があり、計35名が対応を行った。

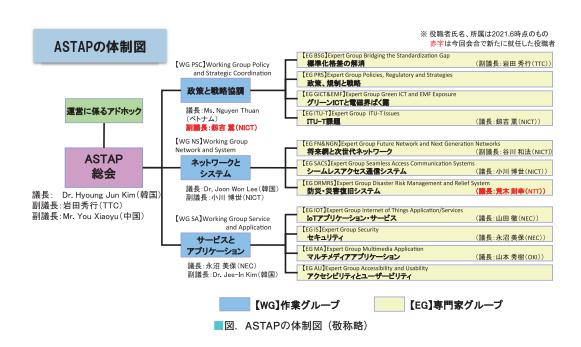
2. 第33回ASTAP会合について

ASTAPは、アジア・太平洋地域におけるICT分野の標準化に関する地域協力を確立し、グローバル標準化活動に貢献すること、ICT分野の研究、分析を通じてAPT(Asia-Pacific Telecommunity)メンバー間における知識と経験を共有すること等を目的としている。

○ASTAPの組織体制

前回ASTAP-32会合(2020年11月)において新規マネジメント体制が承認され、韓国のHyoung Jun Kim氏を議長に選出、日本からは岩田秀行氏(TTC)が副議長に選出された。ASTAP-32はオンラインかつ短期間の開催であったため、マネジメント体制の承認や、各作業グループ(WG)/専門家グループ(EG)の作業スケジュールの承認のみと、WG/EG会議を省略しての開催となったが、ASTAP-33はWG/EG会議も含め、すべてが開催された。

組織体制については、WG PSC (Policy and Strategic Coordination) において、前回から副議長に就任している 岩田秀行氏 (TTC) に代わり、釼吉薫氏 (NICT) が新たに副議長となったほか、EG DRMRS (Disaster Risk Management and Relief System) において議長代理を務めていた荒木則幸氏 (NTT) が正式に議長に就任した。ASTAPの体制と我が国からの役職者を図1に示す。





○インダストリーワークショップ

ASTAP-31 (2019年6月) において、ASTAPの活動の活性化を目的として我が国から提案したアンケート (ASTAP-31 での承認に基づき2019年6~12月に実施) の結果を踏まえ、最も要望の多かった「5G」「非常時通信」をテーマとしたインダストリーワークショップが開催された。共同議長の一人は、ASTAP副議長の岩田秀行氏 (TTC) が務めた。

「5G」関連では、日中韓の企業より、5G関連の取組みについて講演が行われた。日本企業からは楽天モバイルが自律型ネットワーク(Autonomous Networks)について紹介した。中国からは5Gの産業への応用等が、韓国からは5Gブロードキャストについて紹介があった。

「非常時通信」関連では、日中韓の研究機関に加え、タイの通信事業者から講演が行われた。日本からはNICTが気象衛星ひまわりの高解像度画像の共有システム及び耐災害ICTについて紹介した。中国からは消防のビッグデータ活用が、韓国からは携帯端末への一斉同報配信の活用が、タイからは緊急時医療システムについて紹介があった。

○ASTAP活動強化のためのアドホック

ASTAP議長より、ASTAPの強化のためのアドホックグループ会合の設置が提案され、会期中に2回開催された。 議長は岩田秀行氏(TTC)が務めた。

上記アンケートで標準化のキャパシティビルディングへの 支援の要望が多くの国々からあったことを踏まえ、次回 ASTAPにおいて、インダストリーワークショップの他に標 準化ワークショップを開催することになった。

〇日本企業・研究機関からの寄書に関する検討

日本企業・研究機関からの寄書に関する検討結果は、以下のとおり。

・EG(エキスパートグループ)のToRの改訂

[提案者:OKI] EG MA (Multimedia Application) のToR (付託事項) が最新の技術テーマを含んでいないため、ITU-TのSG16 (Multimedia coding, systems and applications) が扱っている最新の技術テーマについて EG MAのToRに追加することを提案。議論の結果、AIマルチメディア、分散電子台帳、車載マルチメディア、高臨場ライブ配信等の技術テーマが追加された。

・新規作業項目の開始

[提案者:NICT]「ネットワーキングのためのAI/MLに関するAPT報告書」の新規作成を提案し、作業開始が承認された。

[提案者:NICT] 本会合でのインダストリーワークショップ

に関連し、「ローカルエリア耐災害情報共有・通信システムに関するAPT報告書」の作成を提案し、作業開始が承認された。

・報告書等の完成・改版

[提案者:NICT] ASTAP-30 (2018年5月) 以降検討されてきた技術報告書案「VoLTEの相互運用性に関する報告書」について、内容の追記等のアップデートを提案、報告書案はプレナリで承認され報告書は完成された。

[提案者:NICT] ASTAP-30以降検討されてきた技術報告 書案「光ファイバ無線技術による無線リレーの技術報 告書」について、「28GHz帯5G無線等、ミリ波における リレー技術」の追記を提案、プレナリで承認され報告 書は完成された。

[提案者:TTC] APT加盟国からの交通事故記録と予測分析のユースケースをまとめた報告書案「交通事故記録と分析方法に関するガイドライン」を提案、併せて「交通事故記録と分析方法の共通記録項目を抽出するためのアンケート結果」の報告を行った。報告書案はプレナリで承認され完成された。

[提案者:TTC] 既存文書「ルーラルエリアでのコミュニティ のためのICTソリューションを紹介するハンドブック」 第3版に、新たなe-ヘルスケアのユースケース「三大感 染症の一つである結核を終息させるe-ヘルスケアシステム」を追加し、第4版に改版することを提案、プレナリで 承認され報告書は改版された。

3. 今後のスケジュール

次回のASTAP会合は、COVID-19の状況と2022年のITU会合予定を考慮し、APT事務局で日程及び開催地を協議し決定することとされた。

■今後のAPT関連のスケジュール

・2021年11月24日(水)~26日(金)

APT WTSA-20準備会合臨時会合を、以下の議題で開催予定 (Web開催)

- -TSAGの議論結果のレビュー
- -他地域機関の準備会合成果のレビュー・対応の検討
- -必要に応じて、APT Position/APT View等の検討
- -WTSA-20 議長・副議長のAPT地域からのノミネート の確定
- -WTSA-20期間中の手続きとAPT調整機能の検討
- ・2022年

第34回ASTAP会合(ASTAP-34)を開催予定